

第 6 回 (8/12号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は昨年並みで、やや早い傾向にあります。韮山地区では出穂まで15日前後、長岡地区江間、大仁地区白山堂では出穂まで12日前後、長岡地区小坂、天野、大仁地区神島では、今週末～来週にかけて出穂予定となっております。山間地の大仁地区田原野では乳熟期、浮橋は固熟期になっていました。

② 病虫害状況

先週の調査では、夏ウンカ、ヨコバイの発生が多くみられましたが、今回の調査では、大雨の影響があったためか、発生数が先週と比べ大幅に少なくなっていました。来週の予察結果もご確認いただき、防除の検討をお願いいたします。

すでに出穂している山間部でも今回の調査では、カメムシの発生は確認されませんでしたが、今年度はカメムシの発生が全国的に多く、静岡県内でも発生が多く報告されています。対策として、出穂10日前までに畦畔の草刈りをしましょう。カメムシは圃場に侵入する前に周辺の雑草に居着いてから圃場に侵入します。出穂後に草を刈ると、圃場にカメムシが逃げ込んでしまい、カメムシ被害の原因となります。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3 kg／10 a 3,660円／1袋（3 kg）

時 期：出穂期(穂が出始めた頃)…イネカメムシによる不稔対策
出穂後 7 日頃(穂が傾いた頃)…斑点米対策

備 考：長期残効(2～3週間程度)

○トレボン粉剤DL 3 kg／10 a 1,400円／1袋（3 kg）

時 期：収穫 7 日前まで

備 考：ウンカ類、イナゴ類、カメムシ類

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤・勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。